

【R1:先-25】石野公園の「道の駅」化に伴う公園再整備に係る 官民連携事業調査 (実施主体:熊本県人吉市)

人吉市基礎情報(R2.1.1時点)
 ・人口:32,266人
 ・可住地面積:210.55km²

【事業分野:公園】 【対象施設:都市公園】 【事業手法:指定管理者制度、コンセッション手法(混合型)】

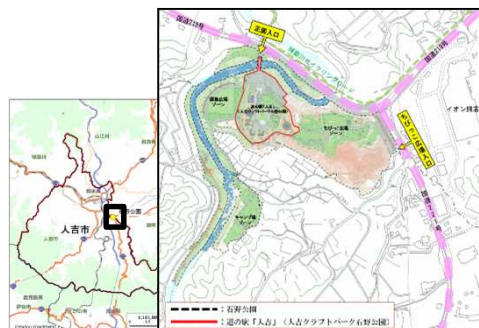
調査のポイント

- ・地方の都市公園の運営・維持管理に関して、コンセッション手法を取り入れて事業化する際のプロセスと課題解決の検討
- ・複数機能のある石野公園を包括的に運営・維持管理しながら、コンセッション手法を取り入れるためのトライアル事業の事業手法の検討

事業/施設概要

【施設概要】敷地面積:21.08ha
 (内、道の駅区域:1.4ha)

【土地建物】
市所有



- ・クラフトゾーン
 - 伝統文化工芸館 (RC-1, 488㎡)
 - 織治・竹・紙工芸館 (W-1, 264㎡)
 - 木工・陶芸館 (W, RC-1, 599㎡)
 - 伝統工芸体験館 (W-1, 264㎡)
 - 焼酎館(W-1, 303㎡)
- ・キャンプ広場
 - 炊事棟(RC-1, 80㎡)
 - トイレ(W-1, 33㎡)
- ・伝統あそびゾーン
 - 古民家(W-1, 106㎡)
 - 展望所(W-2, 470㎡)

調査結果

1. 事業化内容の検討

- 民間事業者ヒアリング調査による、地域・公園のポテンシャル、事業可能性の聴取結果
- ・人を呼び込むために必要な要素である、他にはない石野公園の特徴となる魅力がみられない。
- ・現状では、投資はできるだけ小さくして、人を呼び込み、リピーターを確保することが必要となる。
- ・既存施設を活用して道の駅併設に伴う誘客を取り込むための運営方法を改善すること。
- 運営内容の見直しと維持管理の効率化を図る「コンセッション手法による民間事業者参入」の意向調査結果(サウンディング調査)
- ・運営事業へ市の財政補填がある事業スキームであれば参入の可能性が高い。
- ・直営運営のため、利用状況等に関する詳細なデータが取られていない。
- ・道の駅併設に伴う集客効果を踏まえた、売店を手始めとした、売上、手数料収入増等、投資をせずに運営改善を図るアイデアの提示があった。

2. 官民連携事業の内容・プロセス

- 民間事業者からの意見を踏まえ、石野公園再整備の事業化に向けた事業内容の決定
- ・事業化にあたって再整備を実施せず、運営・維持管理を民間の裁量に委ねる内容とする。
- ・運営改善のトライアル期間(3年)を設定し、市が費用補填して民間の自由な運営を試行する。
- ・事業期間中の運営内容をモニタリングし、次期事業での投資、財政負担縮減を図るスキームを構築する。

3. 運営トライアル事業の事業手法

- 管理許可、指定管理者制度、コンセッション手法の単独または組合せを検討
- ・民間事業者の運営の自由度を重視し、コンセッション手法、指定管理者制度が有効となる。
- ・運営の自由度を高める公園利用許可権限を持つ指定管理者制度は必須要件となる。
- ・指定管理者制度、混合型コンセッション(コンセッション+指定管理者制度)の2手法で検討し、民間事業者の参入可能性が高い、指定管理者制度を選定するが、仕様はコンセッション手法に近づけたものとする。
- ・トライアル期間後の第2次事業は混合型コンセッションに移行することを前提に公募する。

目的・これまでの経緯

- 人吉市では、公共施設の維持管理費低減が重要な課題となっているなか、来園者減少が続く石野公園は、大規模改修の時期となり、施設改修や維持管理費が今後の財政を圧迫する見込みである。
- 石野公園の活性化と再整備事業を「道の駅人吉」の併設開駅を契機に混合型コンセッション手法を主体に実施することで賑わい創出と財政負担縮減を図ることを目的とする。

経緯
 H24:「人吉クラフトパーク石野公園活性化基本計画」策定
 H29:九州沖縄ブロックプラットフォーム官民対話参加
 H30:「人吉クラフトパーク石野公園魅力化構想」案策定

事業化に向けた今後の展望

